

	SSKP
	<p>発行 全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部 〒252-0207 相模原市中央区矢部新町1-9-101 電話 042-852-3525</p>

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
 二〇一七年一月二十三日発行(毎月十八回一・二・三・五・六・七の日発行)
 SSKP通巻第六五三〇号

ホームページ <http://www.max.hi-ho.ne.jp/yawaragi/>
 メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



昨年の赤い羽根募金で黒岩知事とあいさつを交わす赤城神奈川県支部長

<p>脊髄損傷相談会 2～3 「あなたの力になれます」 ～これまでの取り組みとご報告～ 支部長 赤城 喜久代 交流会に参加して 4 川崎協会 室住 二三夫 第2回 行こう～よいちご祭り 5～6</p>	<p>■川崎協会研修会 「人工肛門の話」に参加して 7 川崎協会 本杉 敦宣 忘年会に参加して 8 川崎協会 小暮 進 自動車無料点検実施 9 編集後記 9</p>
---	--

脊髄損傷相談会

「あなたの力になれます」

これまでの取り組み

ついで報告

支部長 赤城 喜久代

脊髄損傷の原因としては、主に交通事故やスポーツ事故、労災事故などの外傷に因るものと、脊髄腫瘍などの病気に因るものがあります。どちらも運動や知覚が麻痺することにより、排尿・排便障害や性功能障害など重篤な障害が発生します。

脊髄損傷の治療法は未だ発展途上であり、それ故一生を車いすで過ごす人が大半です。しかし環境さえ整備せば、脊髄損傷の車いすであっても、以前のような生活を手に入れ、誇り高い社会生活を送ることが出来ます。それを知っている私達こそ、そういう人たちの社会復帰を支えることが

できるのです。

ピアとは同等という意味ですが、ピアサポートとは、同じ障害者が障害者を支えることです。

一般社団法人日本損害保険協会から、脊髄損傷者のピアサポート活動に助成金が出ることになり、脊髄損傷相談会「あなたの力になれます」を実施して早5年になります。

少しその相談の内容などをご紹介したいと思います。

現在、相談会は相模原市、川崎市、横浜市の福祉施設や神奈川県総合リハビリテーションセンター（七沢）の4か所で年4回実施しています。周知の仕方としては、毎年「あなたの力になれます」というチラシを数百枚作り、それを病院や地域の支援センター等に配布している他、支部のホームページに掲載しています。最近ではホームページを見て申し込む人も増えました。

相談内容としては、例えば

○Aさん 女性35歳

全盲で脊髄損傷になった。現在施設で生活している。脊髄損傷なのでもちろん自力排便ができないが、排

便の日が週2回と決められている。しかし回数が足りなくてその間で失禁してしまう。その施設には脊髄損傷者はいなくてそのことをわかってもらえない。

○Bさん 胸髄損傷 男性65歳

入院中の病院のMSWからの相談の申し込みだった。奥さんがどうしていいかわからずにパニック状態なので、まず奥さんに話をしてくれと言われたが、本人もいたので、二人一緒に話をさせてもらった。「胸髄損傷なら、トイレの訓練と少しリハビリをし、トイレと浴室など車いすで動けるように住宅改造をすれば普通に暮らせますよ」と、アドバイスをしたところ、奥さんはようやく落ち着いてくれた。その後連絡がないので自宅へ帰ったものとみられる。

○Cさん 胸椎12番 男性70歳

奥さんが相談に来たが、車いす上で排尿ができずに排尿するたびにベッドに移さなければならずとても大変。そして障害者になって1年以上経つが、付きっきりで世話をしなくてはいけないので、どこへも行けず

ほとほと疲れてしまった。この先人生真つ暗だと嘆いていた。

そこで車いす上での排尿の仕方、男性のピアサポーターが教えてあげた。今後のことは、本人さえやる気になれば、脊損としては軽い方なので、付きつきりにならずとも本人にやらせるようにし、「一緒に旅行にも行けるし、何でもできますよ」と、いうことをお話しした。随分と精神的に追い詰められていたのだろう、将来に灯りが見えたように涙を流していたのが印象的であった。

ODさん、頸髄損傷 男性20歳

相談はご両親から、交通事故で四肢まひになった。現在他の病院に入院中だが転院をしないといけないがどこがいいか？大学生で本人は復学したいといっているがどうしたらいいか。

それに対して、神奈リハに入れるといいが、一応受診をしてみてくださいとアドバイスをした。支部役員のお口添えもあり、その後神奈リハに入る事ができ、リハビリを受け翌年には住宅改造も終わり、Dさんは無事神奈リハを退院できたというお

知らせをもらった。

そういうお知らせは、本当にこの相談会をやっていて良かったと思える瞬間です。

その他、EさんとFさん共に腰椎、40代男性。二人とも自らの飛び降り事故に因る脊髄損傷ということで相談を受けたが、精神を病んだ人の対応は、病院も受けてくれないしわれわれも対応が難しいと感じました。

だいぶ以前の統計ですが、年間5000人ほどの脊髄損傷者が発生すると言われています。まだまだ、脊髄損傷になり、一人であるいは家族と共にいろいろと悩んでいる人がいると思います。

脊髄損傷の車いす障害者であっても、相談会での的確なアドバイスにより、その人が社会復帰をするお手伝いができることは、同じ障害者を持つ私たちにこそできることです。それはまた障害者であっても人の役に立てるといふ喜びでもあります。

今後いかにして、この相談会を広く周知していくか、それが課題でもあります。

会場を借りての相談風景



衝立等を立て 周りから見られないようにプライバシーに配慮する



男女特有の相談内容もあり 男女二名で相談に当たる

交流会に参加して

川崎協会 室住 一二三夫

9月25日、川崎市国際交流センターにて川崎協会会員の交流会が開催され、参加しました。他の予定と重なっている方も多く、会員の参加は4名。少人数で少し寂しい感じもしましたが、全員が日頃思っていることを自由に話し合えたことは少人数だからこそかもしれない。

●各自自己紹介の後自由発言

話題は、「ららぽーと横浜でクラシックコンサートがある」「カワサキハロウィン2016で車いす参加者を募集している」「LIVEコンサートに行きたいが」……元住吉は段差がないと思う。機会があれば行きたい……「かんぽの宿は設備がいい」——リフトがあると場所もあり確認すれば安心して旅行ができる——「UDタクシーが多くなった」——「UDタクシーを見たことがない」と

いう方もいた。

国土交通省では、平成32年度までに28,000台を導入することを目標としているが、利用者への広報も必要かなと思った。乗車したときに少し後ろに傾斜するので乗りにくいとの声もある。

また、今回初めて参加いただいたNPO法人アクセシブル・ラボの方は、行けるお店を選ぶのではなく、行きたいお店に行けるようにとのコメントを軸に現地取材により、店内をありのまま掲載する活動をしているとのこと。入り口のわずかな段差やドア開口部の広さ、店内の通路、テーブルの高さなど、細かな採寸により利用者が的確に判断できるようにホームページで紹介されていることを、パンフレットやパソコン画面で説明していただいた。

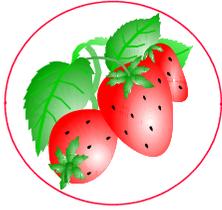
これに関連して会員からは、ファミリーレストランでは、1階が駐車場で2階が店舗というところが多いが、エレベーターがあるところもある。回転ずしでも車いす席があるところもある、なども紹介された。

また、歯科や病院などでバリアフ

リーが整っていると紹介もあった一方、点字ブロック上に駐車していることや、免許の更新で最寄りの警察署がバリアフリーになっていないなどの身近な問題点も話された。交流会は、会員とともに多方面の方の参加も多様な情報を得るために、とても参考になると感じました。3時間の予定をオーバーするほど話題は尽きず、有意義な時間だったと感じました。



川崎協会会員同士の交流会 情報交換の場を通して親睦を深め合った



第2回 行こう～よ！いちご狩り

厚木市という近場でいちご狩りです。この内海いちご園は車いす対応で、車いすトイレや駐車場も用意されています。皆様お誘いあわせの上奮ってご参加ください。

尚、いちご狩りは30分間となっていますので、そのあと移動して希望者のみ、フォーラム246で昼食会にしようと思います。

日時：平成29年3月25日（土） 11：00～11：30

場所：内海いちご園 厚木市下津古久^{しもつこく}696 TEL 046-228-6967
車……東名厚木インターより3分（裏に地図アリ）

料金：1,800円（30分）



* 申し込み・問い合わせ

〒252-0207 相模原市中央区矢部新町1-9-101

赤城 喜久代 TEL/FAX 042-852-3525

Mail:k-edelweiss@jcom.home.ne.jp

* 申し込み締め切り3月17日まで

🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸 **申し込み** 🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

お名前

ご住所

携帯電話

いちご狩り 参加 名 付き添い 有 名

昼食会 参加 名 付き添い 有 名

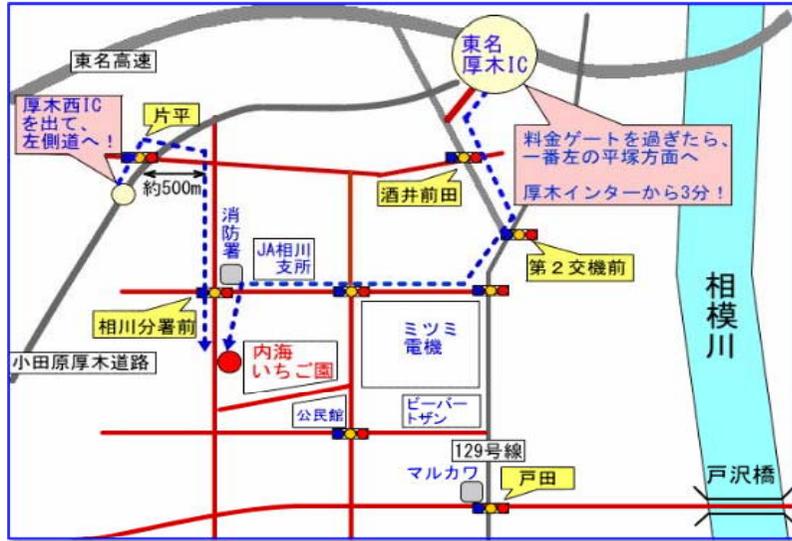


アクセス

■内海いちご園

神奈川県厚木市下津古久696

TEL 046-228-6967



●お車でお越しの場合

東名厚木インターから車で3分

●電車・タクシーでお越しの場合

小田急線 愛甲石田駅下車 タクシーで5分

●電車・バスでお越しの場合

小田急線 本厚木駅下車 南口から神奈中バス
平53、平54（平塚駅北口行き）で約15分、
「相川中学校前」で下車 ⇒ 徒歩10分



バス停からの道順



■川崎協会研修会

「人工肛門の話」に参加して

講師 鈴木 英之氏（日本医科大学武蔵小杉病院
消化器病センター部長）

講師 瀬出井弘美氏（造設経験者）

川崎協会 本杉 敦宣

今年も川崎協会主催の研修会に参加した。自分としては出席率の高い唯一の脊損会イベントだ。この日の最高気温は20度を超えて暖かいくらいだった。今回のテーマは「脊損者の人工肛門による排泄管理 ～ストーマの基礎知識&造設体験～」。

排泄時間の長い自分も、いずれはそうなるであろうとぼんやり思っていたので、とても深い興味を持っての参加だった。

まずは専門医による人工肛門についての講義が行われた。手術の種類や方法、注意点や術後のリスクなど、知らなかったことを多く学べた。

しかし大変な興味を持って出席したのに、先生の穏やかな声が睡魔を誘う。何度かのヤマを越えながら何とか前半最後の質疑応答時間になる。が、頭に浮かんでくる質問内容は今回のテーマとは無関係なことばかり。結局は何も質問できないまま休憩時間を迎え、忙しい先生はすぐにお帰りになられた。



講師 鈴木英之氏



講師 瀬出井弘美氏

研修会の後半は体験談を聞く機会が設けられていた。実生活におけるより具体的な話は大変参考になるものばかりだった。

200種類もあるパウチから自分に合ったものを探せることや、普段特に臭いは気にならないことなど、安心につながる話も聞くことができた。

後半最後には白熱した質疑応答が繰り広げられ、終了時間を迎えるころには、ただ聞いているだけの自分でも脳ミソを含めて全身がヒートアップしていた。鈴木講師と貴重な体験を語ってくれた瀬出井さんに心から感謝を申し上げる。

振り返れば前半の「人工肛門造設術を受けるにあたっては慎重に判断した方がよい」や、後半最後の「肛門から出せるうちは造設しない方がよい」というアドバイスが自分を大きく導いた。

果たして、十分に理解を深めておきつつも造設術はできる限り先送りにした方がよいと思った。

すでに暗くなっていた外に出れば心地よい風にクールダウン。例年通り有意義で充実した研修会だった。



専門知識から造設体験談まで幅広く学習できた

忘年会に参加して

川崎協会 小暮 進

12月11日、伊勢原市フォーラム246にて、参加人数25名にて行われた忘年会に参加しました。

その日は、昼間に行われた『食事で予防・褥瘡と骨折』というセミナーの後の忘年会でした。

セミナーでは、食生活という誰しもおろそかになりがちで身近で大切なお話しでした。「ああ、なるほど、ほんの少し、食生活に気を付けるだけで健康を保てるのだ」と納得しました。

実は、私は、40代の時に日頃の不摂生のため、高血圧症になったため、塩分には気を付けていたのですが、糖質、たんぱく質、脂質のバランスには、気を付けていませんでした。朝は、トーストだけで済ませたり、お昼は菓子パンだけで済ませたりしていました。1品野菜を増やすだけで、バランスが取れると認識を新たにしました。でも、これを実際に実行するのは、難しいかもしれませぬ。

それと、食習慣と同様に大切なのは、適度な運動だそうです。こちらは、少し自信があります。私は、毎日、往復1時間、車いすで通勤しているのです。先生にそれを話したら、厚生労働省の推奨基準を満たしているそうです。ちよつと、嬉しかったです。

また、私は、一昨年、足を骨折して入院した時に褥瘡を作ったことがあります。私は、お尻の感覚があるので

褥瘡の痛みは、本当につらいものでした。今回のセミナーは、大変勉強になりました。

忘年会には、本日のセミナー講師である日本大学スポーツ学部准教授・管理栄養士の辰田和佳子先生もお招きし、和やかな雰囲気が始まり、美味しいコースディナーに舌鼓を打ちました。昨年同様、カラオケもあり、ビンゴゲームもありました。賞品は何と宝くじでした。皆、ビンゴが揃った人は、歓声をあげて大喜びで、はしゃいでいました。くじ運の悪い私もやつとビンゴが揃い、ほつとしました。

忘年会の最後には、会員一人ずつ、今年よかったことを話していき、楽しいひと時でした。

私にとって、脊損会のイベントは、自分と同じ障害を抱えた人が集まる非常に貴重な場です。



辰田先生による食事に関するセミナー



宝くじが当たるビンゴで盛り上がる忘年会

自動車 無料点検 実施

副支部長
山崎 昇

平成28年10月22日（土）、神奈川総合リハビリテーションセンター駐車場において、JAFとミックニライフ&オート（元ニッシン自動車）のご協力により、第39回の自動車無料点検を実施することができました。今年も40数台の車が持ち込まれ、点検を受けていただきました。オイル交換も原価でやっていたのでこれもお得でお勧めです。

聞くところにより、40数年前JAFの方が神奈リハに入院して脊損の方と知り合いになり、そこから無料点検が始まったという事です。縁は異なるもの不思議なものです。縁に長い付き合いをしていただき、本当に感謝に堪えません。来年度は本館病院の取り壊しがあ

長い歴史を支えてくださったスタッフの皆様 いつもご苦勞様です 感謝です



きめ細かいチェックで車の安全が維持されました

るといふことですので、実施できるかどうか心配なところでした。関わった役員の方たちも大変ご苦勞様でした。

編集後記

昨年10月、なかなか治らない褥瘡がなんとポケット状になっていると判明し、手術のため神奈リハに2カ月間入院しました。

手術後は、微細ビーズを空気圧で流動させて患部を常に最適な状態に保つ「空気流動ベッド」に3週間寝たきり状態。ポヨンポヨンと体が不安定で機械音がうるさく、おまけに熱を放出するためうっ熱状態、肌は乾燥してカサカサでした。

でもこの高機能ベッドのお陰で患部は奇麗に治癒、その後エアーマット上での体位交換の方が辛く感じました。

車いすに乗れるまでの5週間、ただラジオを聞くだけで過ごす一日は長くて、お見舞いに来て下さる皆さんとの会話がどんなに楽しくありがたかったことか。

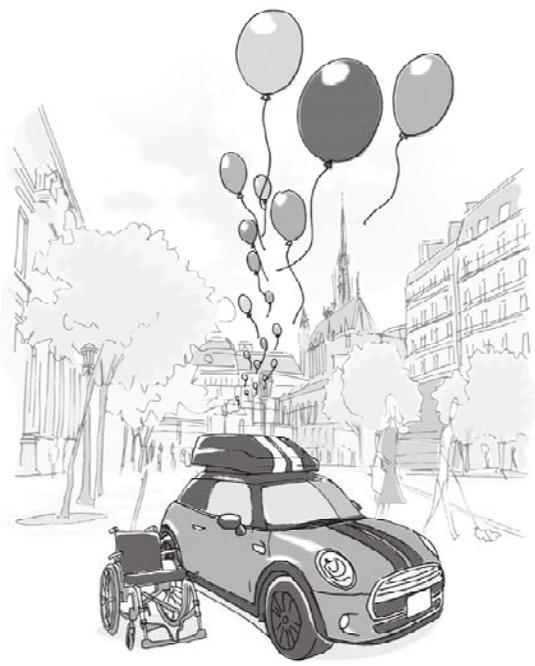
もう入院はこりごりです。

(S・K)

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇一七年一月二十三日発行(毎月十八回)・二・三・五・六・七の日発行
SSKP通巻第六五三〇号

アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッサン自動車工業は2016年4月より、
"株式会社ミクニ ライフ&オート"と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life



車いすを屋根上へ収納
車いす収納装置
オートボックス



車いすに乗ったまま
スムーズ乗降
リモコン式
乗降用リフト



手でアクセル&ブレーキ
手動運転装置
APドライブ



車いすの積み降ろしを
サポート
車いす収納装置
ウィンチェア



福祉車両総合メーカー



ミクニライフ&オート

〒349-1145 埼玉県加須市岡口456-1
TEL.0480-72-7221
FAX.0480-72-7223
<http://www.nissan-apd.co.jp/>

編集人

相模原市中央区矢部新町一―九一―〇一
〔和〕編集部 赤城 喜久代

発行人

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三―一―十七

ヴェルドウーラ祖師谷102

定価 三〇〇円